

離島からの通学 偏りなく負担軽減を



東 由美 議員

島しょ部から定期船で通学する生徒に対し、高等学校生徒通学航路費補助制度がある。しかし、利用できる船便がなく、本土に下宿や転居して通学する生徒には、通学費用に関する補助制度はない。定期船で通学できない生徒に対し、定期乗船券の補助額に相当する家賃補助などを行う考えはないか。



島を出て暮らす学生もいます

A

市民生活部長 牛島、手島、小手島から本土へ通

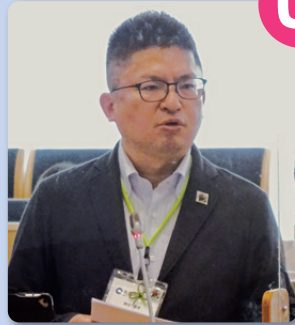
学するには、島外に拠点を構える必要が生じるなど、保護者の経済的負担が大きくなっている。家賃補助を含めた離島高校生への就学支援は、離島への移

住・定住促進への効果も見込まれる。

国の離島高校生就学支援制度や同じ課題を持つ他市町の補助制度を参考に、本市の実情に応じた支援のあり方について具体的に検討したい。



市民に寄り添う 市役所に



神田泰孝議員

新庁舎は、バージョンアップする必要がある。デザイン等も大切だが、行政運営の最適化、適正配置、経営の観点が必要である。分岐のわかりづらい車両入り口や、車いすの出し入れがしづらい思いやり駐車場、また、見えづらいトイレ標識、職員がいないと取れない番号札など、利用する市民や働く職員に寄り添い、使いやすい丸亀市役所であってほしい。今後の改善は。



庁舎東側 思いやり駐車場

A

総務部長 思いやり駐車場には、アクセセルとブレーキの踏み間違いが起きた際の被害軽減のために車止めを設置

しており、位置の変更は難しい。また、中央記載台の番号札は、案内係がお渡しすることにより、窓口の誤りや申請書の誤

記入を防ぎ、窓口サービスの向上につながるため、現状どおり運用したい。

表示の追加や敷地内の案内表示の改善、標識の配色への工夫等は、現状把握を行い、わかりやすさと使いやすさの向上に努めたい。



三方一両損 市長の大岡裁きを



水本徹雄議員



様々な声 市長はどう捉えたのか

市長は、全市民への10万円給付を選挙公約に掲げ、後に5万円に減額すると方針を示した。市民の反応は様々で、高齢者や医療従事者、石垣復旧対策に使ってほしいという意見もある。公約に掲げた理由と併せて、減額に対する市民の声を市長はどう感じているのか。



A

市長 1万人を超える市民と対話を重ね、新型コロナウイルス感染症の影響により苦しむ人を目の当たりにし、選挙公約とした。

今回の提案は、現時点で考えられる最大限の金額として判断

したものだが、やり切れない気持ちを感じずにはいられない。大変申し訳なく思っている。

これから進めていく市政の中で、市民の理解や信頼を得られるよう、今後できる限り努力していきたい。

一般質問・議会の動き
広報広聴委員会

議会の動き 4・5・6月

4月

- 6日 全員協議会
- 20日 新人議員周知会
全員懇談会
- 23日 各派会長会
- 28日 全員協議会
各派会長会
- 30日 各派会長会

5月

- 7日 臨時会
各派会長会
- 11日 広報広聴委員会
- 12日 新人議員研修会
- 14日 教育民生委員会協議会
- 17日 各派会長会
新人議員研修会
- 18日 新人議員研修会
- 21日 各派会長会
議会運営委員会
都市環境委員会協議会

- 24日 全員協議会
- 25日 広報広聴委員会
教育民生委員会協議会
- 28日 全員協議会

6月

- 1日 本会議
各派会長会
- 3日 本会議
広報広聴委員会
- 4, 7, 10, 11日 本会議
- 14日 教育民生委員会
都市環境委員会
- 15日 総務委員会
全員協議会
議会運営委員会
広報広聴委員会
- 18日 議会運営委員会
- 21日 本会議
市民会館整備特別委員会
都市環境委員会協議会
- 29日 教育民生委員会協議会

広報広聴委員会

議会だよりの編集、議会ホームページや議会報告会など議会の広報広聴を担当。

◎委員長 ○副委員長

- ◎神田 泰孝 ○内田 俊英
- 渡邊 一馬 角野 仁美
- 東 由美 廣田 勝也
- 竹田 英司 山本 直久



(後列左から)
渡邊委員 山本委員 廣田委員 竹田委員
(前列左から)
東委員 内田副委員長 神田委員長 角野委員

委員会審査

市長から提案された議案について、委員会ごとに審査しました。



の生活を守ることもつながると考える。

審査結果

議案第39号は修正案可決。
その他の議案は原案可決。

教育民生委員会

■審査した議案

議案第39号

主な質疑

Q委員 子育て世帯生活支援特別給付金の給付対象かどうか、確認する方法は。

A健康福祉部 今行っているひとり親世帯への給付金と同じように、市ホームページにフローチャートを掲載し、簡易に確認できるようにしたい。

Q委員 城東小学校の改築には、水害対策が課題となる。場所やかさ上げなど、関係者との協議をどのように進めるのか。

A教育部 土木・建築に携わる学識経験者やコミュニティ、公的団体の代表者等で基本計画策定委員会を設けて協議していく。学校関係者等からも意見を

聴取し、基本計画などに反映していきたい。

審査結果

原案可決。

都市環境委員会

■審査した議案

議案第39号、42号〜44号

主な質疑

Q委員 報道では、国内で最も古い丸亀高等女学校での女子サッカーの写真よりも古い写真が、九州で確認されたらしい。

女子サッカーの聖地を掲げる本市として、今後の取り組みは。

A市民生活部 本市は、女子サッカーの聖地として着実に発展している。さらなる盛り上げを期待し、今後も環境整備や地元チームへの支援に取り組むたい。

Q委員 下水道事業運営審議会の委員報酬を月額7千円とする根拠は。

A都市整備部 本市の特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例で定める、他の附属機関の委員報酬を参考としている。

Q委員 地域経済の活性化と市内小売店の売り上げ増加を目的に、キャッシュレス決済ポイント還元事業を行うのであれば、市内の小規模事業所のみを対象店舗とすべきではないか。

A産業文化部 昨年より、商工会議所と連携し、継続的にアンケート調査を行い、適宜適切に支援できるよう施策を考えている。

利用者の利便性の観点から、大手企業やチェーン店も対象とし、多くの方に利用してもらいたい。

結果として、その経済効果が被雇用者として市内で働く市民

総務委員会

■審査した議案

議案第39号〜41号

主な質疑

Q委員 今後の売り上げ見込みは。

Aポートレース事業局 今年度、一般レース、GⅠ京極賞に加え、GⅡ全国ポートレース甲子園競走の開催により、総売上1050億円程度、今回の繰り出し後の利益として約11億円を見込んでいます。

令和4年度以降はSG開催を考慮せず、総売上970億円程度、利益として約50億円を見込んでいます。

審査結果

議案第39号は修正案可決。
その他の議案は原案可決。

一般会計補正予算 修正可決

起立により賛成多数

討論

《原案・修正案に反対》

横川 重行

理由 給付金や事業所支援は、真に支援を必要としている人に対して行うべき。

《原案に反対・修正案に賛成》

岡田 剛

理由 市民への支援は必要だが、5万円の給付が妥当であるとは判断しがたい。

《原案・修正案に反対》

内田 俊英

理由 格差が拡大する中、一律給付に疑義がある。今回の給付金は見送り、手法など再考すべき。

《原案に賛成・修正案に反対》

三宅 真弓

理由 給付金の申請は強制ではない。各人が必要に応じて申請できるようにするべき。

〔歳出〕

新型コロナウイルス感染症対策費	64億1420万円	→	41億6020万円
(内訳) コロナ緊急経済対策特別定額給付金給付事業費		▲	22億5400万円
	57億3000万円	→	34億7600万円
新型コロナウイルス関連事業所支援事業費			5億7420万円
子育て世帯生活支援特別給付金事業費			1億1000万円
財政調整基金積立金			22億5400万円

令和3年6月定例会 賛否が分かれた議案の審議結果

議案名	議員名	審議結果	議員名																						
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
議案第39号	一般会計補正予算(第2号)(修正案)	可決	×	×	×	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	◆	○	○	○

○は賛成、×は反対、-は退席した者です。

◆は議長のため採決には参加していません。

※上記以外の議案はすべて全会一致で原案を可決しました。

編集後記

4月に丸亀市長・市議会議員選挙が行われ、改選後、広報広聴委員会も新しく8名のメンバーとなりました。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な方法を模索しましたが、議会報告会や高校生との意見交換会もやむなく中止になりました。

当委員会としましては、この一年間の経験を糧に、学生の皆さんとの意見交換会の拡充や、一昨年に導入したタブレットと新議場の連動など、今後とも変化を恐れず、丸亀市政の発展に寄与できるように、議員全員が一丸となり、進めていきたいと思っております。

市民に身近な議会となるような面白いアイデアがあれば、ぜひお知らせください。

広報広聴委員長

神田 泰孝